

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	総合運動公園再生修復事業			事業番号	36-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	みどり公園課	吉田 俊	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	36	みんなで楽しめる公園づくりの推進	
予算事業名	総合運動公園維持管理費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成28年度	～	終了年度	令和4年度
関連法令等	都市公園法				
国・県の計画等			計画期間		
関連個別計画			計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	伊勢原市総合運動公園は、昭和63年に供用開始されて以来、施設の経年劣化が進んでいる。また、人口減少、少子高齢化、市民ニーズの多様化などの時代の変化に伴い、総合運動公園に求められる役割も変化しています。このような中、市民意識調査においても、大型遊具等が整備された子ども達が遊べる公園のニーズは高くなっています。				
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市総合運動公園が、将来に渡り、市民の健康づくりや、憩いの場、誰もが楽しめる公園となるよう、総合運動公園再生修復基本方針に基づき、施設の整備を行います。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び公園利用者				
事業内容 (手段、手法など)	総合運動公園再生修復基本方針(案)に基づき、実施設計を行い、子ども広場の整備を行います。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	実施設計	実施設計	—	—	
	施設整備	—	芝生広場遊具等 芝生広場トイレ	芝生広場附帯 展望広場 中央広場水景施設	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	総合運動公園施設の整備	—	実施設計	芝生広場工事 芝生広場トイレ整備	芝生広場工事 展望広場・ 中央広場整備



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)					
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目		年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実施設計		実施設計		
	施設整備		-		
実施した取組の内容	伊勢原市総合運動公園再生修復整備方針を作成するとともに、同方針に基づき、工事を行う箇所(約3.0ha)の実施設計を行いました。				
目標の達成状況	【指標名】		年度		
	【現状値】		平成30年度	令和元年度	令和2年度
総合運動公園施設の整備		-	実施設計		

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		4,968		千円	0		千円	0		千円	0		千円	
	内訳	国県支出金 ①		0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		地方債 ②		0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		その他特財 ③		0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		一般財源 (a)-①-②-③		4,968		千円	0		千円	0		千円	0		千円
	国県支出金の内容														
	その他特財の内容	受益者負担		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				前回の改定時期							
		その他													
	人件費	正規職員		0.11	人	936	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)		0.11	人	936	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)		5,904		千円	0		千円	0		千円	0		千円	
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位			単位			単位			
			対象数	102,416		人									
総事業費 / 対象数		58	円			円			円			円			

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	伊勢原市総合運動公園再生修復整備方針に基づいた実施設計を行い、次年度の施設整備に向け成果品を取りまとめることができました。 また、次年度からの工事に際し、国の社会資本整備総合交付金の採択を受けることができました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	特定の公園の再整備であり、他市と一律に比較はできません。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	市民アンケート、パブリックコメント、検討委員会などを通じ、市民の健康づくりや憩いの場、多世代で楽しめる公園となるよう、施設の配置を計画しました。少子高齢化、人口減少など公園の役割が変化している中で、市民の意見を取り入れ、公園のリニューアルを行うことは有効性が高いものと考えます。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	市民ニーズの高い施設や、総合運動公園の特性を生かした施設を選定するなど、方針に基づいた効率的な施設計画を行いました。


 取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	工事は公園施設を供用しながら進めるため、施設管理者との十分な調整を図るとともに、利用者に工事の進捗やエリアごとの規制など、適切な情報提供を行い、円滑に事業を推進することが必要です。
令和元年度の取組方針		平成30年度に作成した伊勢原市総合運動公園再生修復整備方針及び実施設計に基づき、エリアごとの工事を着実に推進し、整備効果の早期発現を目指します。		
所管部長による総評		本市のスポーツ拠点として、また災害時には防災の拠点としての機能を保持しつつ、市民の健康づくりや遊び、景観など、子どもから高齢者まで多世代が楽しむことができる魅力的な公園づくりは、本市の持続的な発展に欠かせないものと考えています。第5次総合計画後期基本計画に基づき、着実に事業を推進していくことが必要であると考えます。		